

岸田政権の暴走ストップ！
戦争準備より・平和の準備を！

日本共産党

市会議員候補



太陽の陽子

山本陽子

やまもとようこ

市民のいのちと暮らし、平和を守るために、市長に対しても国に対しても、
おかしいことはおかしいと言い、また、市民の代弁者として願い実現へ、必ず、
頑張ります。是非とも市議会に押し上げて下さい。

プロフィール：京都市議2期。兵庫県丹波市生まれ、48歳。立命館大学産業社会学部卒。大学時
代に「障がい児学童」で活動。弁護士をめざして司法試験に10回挑戦。家族、中2娘・小6息子。

ほんまに 子育てしやすい山科に！

市政を動かす!!

一日も早く、学校調理型の中学校給食と給食費無償化へ

市民の皆さんの粘り強い運動で、市はようやく全員制の中学校給食の「実施を視野に入れた調査費計上」を表明しました。引き続き、小学校のような温かい給食の実現、給食費の無償化へと力を合わせましょう。

日本共産党への一票は、子育てを応援する確かな力



コロナ禍、物価高騰の今こそ、暮らし応援に全力!!

まちづくりは山科のバス路線の充実で

- 高さ規制の緩和は撤回！ボール遊びのできる公園

社会で支える子育て支援 京都市予算の1%

- 子どもの医療費18歳まで無料に
- 学校調理の温かい中学校給食、給食費無償化
- 給付制奨学金と返済支援

市民いじめの行財政改革は中止を！

- 敬老乗車証制度を元に戻す
- 保育士給与補助金の13億円復活

安心して暮らす

- 国保料・介護保険料の引き下げ
- 障がい者の暮らしの場を増やす

経済は内需の拡大で好循環を

- 公契約条例に賃金条項
最低賃金時給1500円
 - 消費税5%減税・インボイス中止
- 戦争する国づくりあかん！

私も推薦します

あかたちかこ（日本共産党山科なんでも相談室長）
石田紀郎（市民環境研究所代表）
倉林明子（参議院議員）
佐藤久男（全京都建築労働組合山科支部支部長）
高原正興（京都橘大学名誉教授）
永井幸子（保育士・子育てサポートボランティア）
藤田欽平（アトリエフジタ主宰）
本庄孝夫（元京都府議会議員）
水戸近江（新日本婦人の会山科支部支部長）
宮村秀志（山科民主商工会会長）

お約束

困ったときは共産党 「なんでも賛成」の「オール与党」では皆さんの声は届きません

山本陽子選挙事務所 TEL. 075-595-8342

頒布責任者／本庄孝夫 京都市山科区西野大手先町8-8
印刷所／新日本プロセス株式会社 京都市南区吉祥院石原上川原町21番地

証紙

「行財政改革計画」の撤回を

昨年度(2021年度)は
実質102億円の黒字

市民の宝

敬老乗車証を元に戻せ

改悪計画

利用料負担 昨年2倍、^{さらに}今年3倍に
支給年齢 70歳から75歳へ
段階的に引き上げ

日本共産党以外のすべての会派が反対

請願 敬老乗車証の利用者負担額引上げの撤回等

共産	自民	公明	京維	民フ	立民	無所属
○	×	×	×	×	×	×

2022年11月市会 ○賛成 ×反対 京維…京都党・維新の会

北陸新幹線より、
バス路線の増便・拡充を！
災害に強いまちに！

昨年「ボランティア運行」に切り替えられた小金塚のバス運行を京都市の責任で。大塚や鏡山・西野など交通不便地域の「バスの増便」を求める声が広がっています。住民の暮らし最優先、移動手段を整備するのは、国と京都市の責任です。

温暖化の影響で猛威を振るう災害。浸水被害の四ノ宮川、安祥寺川の早期改修の実現を求めます。



高い建物が少なく、
山と空が見える山科に
「高さ規制緩和」撤回！

山科区の外環状線沿道の高さ規制「無制限」は、歴史と文化を持つ山科のまちを東西に分断し、暮らしやまち並、豊かな自然と景観など、山科のまち壊しです。昔ながらのお店や景観を守るほうが、オンリーワンのまちになります。



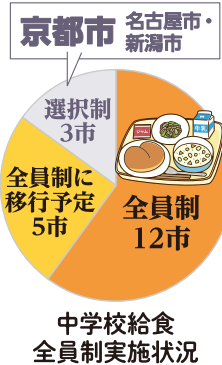
市政を動かす！！
日本共産党への一票はくらしの願い実現の確かな力！



小学校のような
全員制の中学校給食へ

さらに無償化へ

実施を求める請願が11年間に16回提出され、日本共産党市議団は実現めざして論戦。しかし他会派は1度も賛成しませんでした。市民のみなさんの粘り強い運動で、市はようやく「実施を視野に入れた調査費計上」を表明しました。



請願 小学校のような全員制の中学校給食の実施

共産	自民	公明	京維	民フ	立民	無所属
○	×	×	×	×	×	×

2022年9月市会 ○賛成 ×反対 京維…京都党・維新の会

子どもの医療費助成制度の拡充を！

秋から「入院は中学校卒業まで、通院は小学校卒業まで(200円)」。京都府内でも、全国でも、18歳までの助成が当たり前になりつつあります。ただちに引き上げを求めています。

民間保育園の補助金
13億円復活を！

京都市が「財政危機」をあおって削った13億円。このままでは「保育士不足と保育の質の低下」「園の運営ができない」など、不安が広がっています。

大山崎町では 子育て支援・暮らし応援で
人口増加、税収増の好循環！

